

# 公式試合記録



公益社団法人 日本ホッケー協会

## 大会名： 第34回 全日本大学王座決定戦・東西交流戦

試合番号	備考	年	月	日	時間	場所	ピッチ
M10	男子準決勝	平成 27	7	11	15:45	阿須運動公園ホッケー場	人工芝 (W)

チーム名	試合	3 - 2	チーム名
天理大学	(前半)	1 - 1	山梨学院大学
	(後半)	2 - 1	

	先発	背番号	氏名	G	Y	R
1	✓	G 1	吉川 貴史			
2	✓	2	金井田 幸樹			
3	✓	3	松本 匡史			
4	✓	4	山田 翔太			
5		6	落合 大将			
6		8	武田 涼			
7	✓	8	黒川 大地			
8	✓	9	山水 翼瑛			
9	✓	10	石川 嵩晃			
10	✓	11	瀧澤 隆介			
11		12	和久利 裕貴			
12	✓	13	橋本 航太			
13		15	中村 新樹			
14		16	西尾 良太	55		
15		17	福田 健太郎			
16		G 18	松田 啓太			
17	✓	21	田中 海渡			
18	✓	24	稲山 巧			

	先発	背番号	氏名	G	Y	R
1	✓	2	山崎 文也			
2	✓	3	長岡 司			
3		4	四日市 翔太			
4	✓	5	川端 諒大			
5	✓	6	山崎 晃嗣	38		
6	✓	7	穴井 信太郎			
7		8	金井 俊記			
8	✓	9	小沢 諒	22		
9	✓	10	蛭田 光			
10		11	河村 陸			
11	✓	12	朝倉 祐樹			
12	✓	GK 13	藤原 健人			
13	✓	15	伊藤 義一			
14		16	林 聡馬			
15	✓	17	松 健太			
16		26	千葉 健寛			
17		28	上澤 祐斗			
18		29	小川 恭平			

時間	No.	種	時間	No.	種	時間	No.	種	時間	No.	種
9	4	PC									
42	8	PS									
50	4	PS									

得点

時間	No.	種	時間	No.	種	時間	No.	種	時間	No.	種
29	15	PC									
66	15	PC									

暑かった初夏の日も夕暮れを迎える頃、天理大学と山梨学院大学の試合が天理のセンターパスによって開始された。序盤、山学がパスカットからチャンスを演出するが最初にPCを獲得したのは天理。これを確実に決めきり天理が先制する。負けじと山学はPCを獲得するが天理GKのセーブにあう。天理は要所要所をしっかりと取りきりマイボールにしてポジションを増やす。それでも山学は3本目のPCでフリックを突き刺し、同点で前半を終える。迎えた後半、ヒットを放った天理がその流れでPSをゲットし、冷静にこれを沈めリードする。なかなか決定機が訪れない山学はPCで地を這うシュートを放つもこれも天理GKの壁を破れない。じれる時間が続く中またしても天理にPSが与えられ、3-1と天理が山学を突き放す。このままでは終われない山学、多くのシュートを打ち、66分にはまたしてもPCを決め1点差に詰め寄る。その後もPCを獲得し会場も熱に包まれるが1点の差は大きく、天理が3-2で決勝に駒を進めた。

Rアンパイア	穴井 孟司
ジャッジ	高野 禎
ジャッジ	中岡 彬

Sアンパイア	木下 英貴
Sアンパイア	渡邊 道彦
T O	長田 和雄

# 公式試合記録【戦評】



公益社団法人 日本ホッケー協会

## 大会名： 第34回 全日本大学王座決定戦・東西交流戦

試合番号	備考	年	月	日	時間	場所	ピッチ
M10	男子準決勝	平成 27	7	11	15:45	阿須運動公園ホッケー場	人工芝 (W)

チーム名

<b>天理大学</b> ( 奈良県 )
------------------------

試 合    3   -   2 (前半    1   -   1   ) (後半    2   -   1   )
--

チーム名

<b>山梨学院大学</b> ( 山梨県 )
--------------------------

	先発	背番号	氏 名	G	Y	R
1	✓	G 1	吉川 貴史			
2	✓	2	金井田 幸樹			
3	✓	3	松本 匡史			
4	✓	4	山田 翔太			
5	6	6	落合 大将			
6	8	7	武田 涼			
7	✓	(8)	黒川 大地			
8	✓	9	山水 翼瑛			
9	✓	10	石川 嵩晃			
10	✓	11	瀧澤 隆介			
11	5	12	和久利 裕貴			
12	✓	13	橋本 航太			
13		15	中村 新樹			
14	5	16	西尾 良太	55		
15	5	17	福田 健太郎			
16		G 18	松田 啓太			
17	✓	21	田中 海渡			
18	✓	24	稲山 巧			

	先発	背番号	氏 名	G	Y	R
1	✓	2	山崎 文也			
2	✓	3	長岡 司			
3	8	4	四日市 翔太			
4	✓	(5)	川端 諒大			
5	✓	6	山崎 晃嗣	38		
6	✓	7	穴井 信太郎			
7	9	8	金井 俊記			
8	✓	9	小沢 諒	22		
9	✓	10	蛭田 光			
10	8	11	河村 陸			
11	✓	12	朝倉 祐樹			
12	✓	G 13	藤原 健人			
13	✓	15	伊藤 義一			
14	9	16	林 聡馬			
15	✓	17	松 健太			
16	7	26	千葉 健寛			
17	8	28	上澤 祐斗			
18	8	29	小川 恭平			

ゴール	PS	PC	シュート		シュート	PC	PS	ゴール
1	0	1	2	前 半	4	3	0	1
2	2	0	3	後 半	8	5	0	1
				S O				
3				合 計				2

### 【戦評】

暑かった初夏の日も夕暮れを迎える頃、天理大学と山梨学院大学の試合が天理のセンターパスによって開始された。序盤、山学がパスカットからチャンスを演出するが最初にPCを獲得したのは天理。これを確実に決めきり天理が先制する。負けじと山学はPCを獲得するが天理GKのセーブにあう。天理は要所要所をしっかり取りきりマイボールにしてポゼッションを増やす。それでも山学は3本目のPCでフリックを突き刺し、同点で前半を終える。迎えた後半、ヒットを放った天理がその流れでPSをゲットし、冷静にこれを沈めリードする。なかなか決定機が訪れない山学はPCで地を這うシュートを放つもこれも天理GKの壁を破れない。じれる時間が続く中またしても天理にPSが与えられ、3-1と天理が山学を突き放す。このままでは終われない山学、多くのシュートを打ち、66分にはまたしてもPCを決め1点差に詰め寄る。その後もPCを獲得し会場も熱に包まれるが1点の差は大きく、天理が3-2で決勝に駒を進めた。